

踏切事故 警報機の音

踏切通過時の基本中の基本
「窓を開け、音を聞き、左右確認」

踏切手前、スリップしやすいので
早めのブレーキ

「注意が散漫になっていた」
「警報機の音に気付かなかった」
踏切事故

71歳男性の車、電車と衝突
合わせて3人を病院に搬送
事故で、3,500人に影響

2022/11/21(月) 17:41

21日午前8時ごろ、富山県の踏切で普通電車と乗用車が衝突しました。
この事故で、乗用車を運転していた男性（71）が肋骨を折る重傷で、助手席に乗っていた女性（70）も全身を強く打って重傷です。

また電車には運転士1人と乗客99人が乗っていて乗客1人が気分が悪くなり、病院に運ばれましたが軽傷です。

事故の影響で上下線あわせて9本が運休し、およそ200人に影響がでました。また衝突のはずみで、車は並行する線路にはみ出し、上下線あわせて12本が運転見合わせ、3300人あまりに影響が出ました。

警察によりますと、車を運転していた71歳の男性は警報機の音に気付かなかったと話していて、踏切内で遮断機が下りたため車を停止させたところに電車が衝突したということです。